

松山市の下水道デザインマンホール豆知識

松山市の下水道事業は、昭和33年に事業認可され、昭和37年に供用が開始（四国で初めて処理場の運転を開始）されました。当時のマンホール蓋は、幾何学模様にし章を中心に据えたシンプルな意匠でした。色付きのデザインマンホールはカラー舗装された歩道用のもので、昭和63年2月に登場した初期型のもは、何と！デザインの花の部分に“有田焼”のカラー陶板を埋め込み、周囲を樹脂カラーによる色彩をほどこしたものでした（当時の市のスローガン入りのものも有り）。しかしながら、陶板の耐久性などを考え、現在では全体がカラー樹脂となっています。

実際にマンホールを見に行ってみよう！

右の地図は、坂の上の雲ミュージアムと市役所周辺に設置してある、カラーマンホールの位置を示しています。重要な都市基盤である公共下水道の点検口を巡ってみよう。



坂の上の雲ミュージアム(現在地)

- ◆ 1991年以降のデザイン
- ★ 初期型のデザイン
- ★ 初期型のデザイン (スローガン入り)